

(様式4)

◆ (氏名) 築樋博子

<所属・職名>

豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育相談員

<略歴>

1999年から現職に就き、外国人児童生徒教育に関わる資料・教材の作成や支援体制作りに携わる。2018年からは、豊橋市の日本語初期支援コースのコーディネーターを務めている。愛知県や自治体国際化協会等の多文化共生に関する各種会議や、文部科学省の「日本語指導が必要な児童生徒の教育の充実のための検討会議」に委員として参加。(独)教職員支援機構の「日本語指導指導者養成研修」等の教員研修の講師を務める。「特別の教育課程」による日本語指導のための体制作りや「個別の指導計画」の作成、日本語初期の集中指導教室の仕組み作りや指導方法についてアドバイスすることができます。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

豊橋市教育委員会のスタッフとして、外国人児童生徒教育に関わる資料・教材の作成や支援体制作りに携わってきました。【参考】豊橋市外国人児童生徒教育資料 <http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/> 特に近年は、「特別の教育課程」による日本語指導に関わる体制作りや「個別の指導計画」の作成、日本語初期の集中指導教室の仕組み作りや指導に関心があります。

平成15年度(2003年)

- ・(一般財団法人)自治体国際化協会「専門通訳ボランティア研修プログラム検討委員会」委員

平成16年度(2004年)

- ・愛知県「国際交流大都市圏構想推進」重点プロジェクト②ワーキンググループ
「ブラジル国籍等外国籍児童・生徒の教育環境の抜本的整備」委員

平成18年度(2006年)

- ・愛知県「多文化ソーシャルワーカー養成検討委員会」委員
- ・愛知県「多文化ソーシャルワーカー養成講座・子どもの教育」講師(～平成23年度)

平成19年度(2008年)～令和元年度(2019年)

- ・(公益財団法人)名古屋国際センター「外国人児童・生徒サポーター養成研修」講師

平成21年度(2009年)

- ・愛知県「プレスクール実施マニュアル作成委員会」委員
- ・「多言語・学校プロジェクト」コアメンバー

平成22年度(2010年)

- ・文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の教育の充実のための検討会議」委員
- ・東京外国語大学(文部科学省委託事業)外国人児童生徒の総合的な学習支援事業
「学校において利用可能な日本語能力測定方法(DLA)の開発」推進委員(～平成24年度)
- ・国際移住機関IOM(文部科学省委託事業)
「定住外国人の子どもの就学支援事業・JYLプロジェクト」アドバイザー(～平成24年度)

平成23年度(2011年)～令和3年度

- ・(独立行政法人)教職員支援機構「外国人児童生徒等に対する日本語指導 指導者養成研修」講師

平成24年度(2012年)

- ・文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」委員

令和2年度(2020年)

- ・日本語指導が必要な児童生徒等の教育支援動画コンテンツ開発委員会 委員

<対応可能学校種>

小学校、中学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

■ 対応可 □ 対応不可

(様式4)

<その他(国等の委員歴等)>

- ・愛知県「多文化ソーシャルワーカー養成検討委員会」委員
- ・愛知県「プレスクール実施マニュアル作成委員会」委員
- ・文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の教育の充実のための検討会議」委員
- ・東京外国語大学(文部科学省委託事業)外国人児童生徒の総合的な学習支援事業「学校において利用可能な日本語能力測定方法(DLA)の開発」推進委員
- ・文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」委員
- ・文部科学省「外国人児童生徒等における教科用図書の使用上の困難の軽減に関する検討会議」委員

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。